

やすらぎの里便り

社会福祉法人つつじ会 発行責任者 前田 弘

東京都神津島村字沢尻十一―一

☎ 0499281171 FAX 81173

発行年日

2015.6.15

第80号

☆ホームページアドレス <http://www.kouzu-yasuragi.net/>
☆メールアドレス yasuragi@dream.ocn.ne.jp

第十八回やすらぎの里まつり開催される

五月三十一日(日)やすらぎの里最大のイベントである「第十八回やすらぎの里まつり」が開催されました。

当日は朝から雨模様だったため、会場的大幅な変更も考えられましたが、開催時間には雨も止むと判断し、オープニングセレモニー及びブルーカレンツの演奏を二階食堂に変更しただけで、予定どおり開催されました。

会場準備は前日から行われ、テントやベンチなどを搬入し、当日も朝早くからテントの設営などが行われました。

今年も村役場福祉課や社会福祉協議会、商工会、漁協など多くの外部団体が協力していただき、大変盛り上がりしました。



(オープニング神津島太鼓演奏)



(オープニングセレモニー
会場の様子)



(射的の様子)

当日は午前十時から、一般の方々と混雑する前に特養入居者や支援ハウス入居者の方々に会場内を見ていただき、出店などでの買い物を楽しまれていました。

午前十時三十分からは二階食堂に於いて、オープニングセレモニーが開催されました。

セレモニーでは、前田施設長の開会宣言の後、神津島太鼓に

よる演奏が披露され、入所者や一般の方々と会場は盛り上がりつつありました。
オープニングセレモニー後、一般の方々への販売が開始されると、各出店とも大変賑わっていました。

今回の「里まつり」では各部署の出し物として、一階会議室では事務が担当し「射的」を行いました。



(会場内の様子)



(血圧測定コーナーの様子)

また、地域活動支援センターでは、利用者が栽培したジャガイモを使つての「コロツケ」の販売や神津産の甘夏を使つての「マーマレード」などの販売、切り絵などの作品展示販売を行いました。

医務課では一階リハビリ室にて「血圧測定」「血管年齢測定」「血圧のアンケート」を実施しました。一階入り口付近で、施設介護課による「お菓子のつ

かみ取り」が行われました。
二階では食堂での栄養課による「カレーライス」の販売や、在宅介護課による「ポップコーン」「チョコバナナ」の販売が行われました。

一階駐車場では各協力団体による出店が出展されました。村役場福祉課は「焼きそば」、漁協女性部による「コロツケ」「魚サンド」「魚のフライ」などの他、「ムツ」「赤サバ」の販売が行われました。



(お菓子のつかみ取りの模様)



(商工会女性部の出店の模様)

商工会青年部では「たこ焼き」「ハッシュドポテト」「ホンビノス貝焼き」、商工会女性部は「いなり寿司」「あぶらき」の販売。商工会青年部OB会による「焼き鳥」の販売もおこなわれました。

社会福祉協議会では「フランクフルト」「団子」の販売。

また、ねぎぼうずでは「コーヒ」「パウンドケーキ」の

販売を行い、家族会では「かき氷」などの販売が行われました。各出店とも好評であつという間に完売してしまつた出店もありました。

また、今回中学生のボランティアも参加していただき、各出店などを手伝ってくれました。その他、午前十一時三十分からは二階食堂に於いてブルーカレンツによる演奏も行われました。



(家族会出店の模様)



(ブルーカレンツ演奏の模様)

今回の里まつりでは例年ない多くの村民の方々が来場され、会場内は大変賑わっていました。

◆里まつりご協力に感謝

施設長 前田 弘

今年の「やすらぎの里まつり」は、数日前の準備の段階から、低気圧通過に伴う雨の予報であつたため、屋外での出店や太鼓・バンド演奏など、どうす

るのか職員一同大変に気をもみましたが、太鼓・バンド演奏は室内で実施、出店は予定どおり屋外で実施することができました。これは、まつり当日の朝、午前十時過ぎには雨が止むと判断した訳ですが、準備の段階では強い雨が降り、設置したテントの屋根に相当の雨水が溜まり、作業の一時中止をしながらの準備でした。

そのような状況の中、やすらぎの里職員よりも早くテントやテーブルの設置など、準備をしてくれた商工会青年部・村役場福祉課職員他の協力団体の皆様に深くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

まつり本番には大勢の地域の皆様にご来場頂き、大変に賑わいました。やすらぎの里は、今や地域になくてはならない施設となつていきます。今後とも地域の高齢者や心身の弱者福祉の向上のため、邁進して参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

感染症予防教室開催

五月十五日（金）午後七時三十分から午後九時まで、ホーム二階食堂に於いて、「平成二十七年 感染症・救急蘇生法研修会」が開催されました。

やすらぎの里では、年に数回職員全員参加で、様々な研修会や勉強会を開催しております。今回は感染症及び救急蘇生法についての研修会でした。夜勤者、島外出島者を除き、ほぼ全職員が出席しました。



初めに前田施設長から挨拶があり、続いて「救急蘇生法」の研修に入りました。今回は講師として、役場から石田修治さんと浜川誠さんを講師に迎え行われました。

講義ではAED機器の説明や実施方法、また心臓マッサージの実施方法などが行われ、それぞれの注意点や高齢者の行う場合の留意点などの内容で、一時間程度行われました。

その後、高齢者にとつては非常に危険な「インフルエンザ」

や「ノロウイルス」などの感染症を予防するための勉強として、「感染症について」として医務課による講義が行われました。

内容は初めに感染症予防の基本としてDVD及びパワーポイント等を使つての講義の後、各グループに分かれ、「全職員が手洗いを実践できるためにはどうすればいいのか？」を題材にグループワークが行われました。



（グループワークの様子）

医務課から

面会者へのお願い

今回の研修テーマである「感染症」には、インフルエンザやノロウイルスなどの他にも、風邪など抵抗力の弱っている高齢者が感染すれば、生命の危険になる可能性を含んでいます。

高齢者施設では感染症対策として「感染症の病原体を施設に持ち込まないようにすることが重要」と考えております。そこで、面会に来られる方は、次の事に注意してください。

◎ご自身の体調不良（風邪や下痢のあるとき）の場合は面会を控えて下さい。

◎入館前には必ず、玄関の手洗い場で手洗い、消毒して下さい。
よろしくお願い致します。

四・五月デイサービス行事

四月予定していた桜見物は桜の開花に合わせて三月下旬に行いました。



(かえも桜の前で)

村内にいくつかある桜の銘木(?)を観に、おきん沢の「かえも桜」を尋ねました。
まだ七分咲きでしたが、春の到来を感じることが出来ました。

四月の行事は「おやつの日」。村内の和菓子のお店から美味しいお菓子を購入し、お茶の時間にいただきました。



五月は「外食の日」でした。いつもなら、村内のお食事処へ外食をしに行きますが、今回は新緑の多幸方面へお弁当を持って出かけました。



ロッジのデッキや、キャンプ場のあずま屋でお日様を浴びながらのランチはいつもと一味違います。

当日は爽やかな良いお天気に恵まれて、食欲も増進。「外で食べるお弁当は美味しい！」と大好評でした。



買い物ランチツアー開催

四月十九日(日)に「買い物・ランチツアー」が開催されました。

特養入居者は普段、自分で買い物やご飯を食べに行くことが出来ないため、希望者を募り定期的に「買い物・ランチツアー」を開催しています。

今回は六名が参加されました。まず、スーパ―丸伴で介護



スタッフとボランティアの方が付き添い、欲しいものや食べたいお菓子などの買い物を行いました。

その後、昼食のため潮見寿司へ移動。予め食べたいものを注文しており、にぎり寿司やちらし寿司、天丼などを食べ、皆さん大変満足されていました。

食後は、ありま展望台までドライブし、村落を見学してからホームへ戻りました。

四・五月合同誕生会

五月二十四日(日)午後二時から、三階ホールにて恒例の「合同誕生会」が開催されました。特養では入居者の誕生日に、家族も参加してお祝いを行います。家族とは別に、二ヶ月ごとに合同の誕生会を開催いたします。

今回は四月、五月に誕生日を迎えられた特養入居者七名の合同誕生会です。

● 四月誕生日の方

関 晃さん(八十八歳 米寿)
鈴木梅吉さん(九十四歳)
稲葉クニ子さん(八十五歳)
中村昭吉さん(八十八歳米寿)
山田とよ子さん(八十八歳米寿)
宮川富美子さん(八十三歳)

● 五月誕生日の方

浜川セツ子さん(八十六歳)



式典では、施設長が出張中のため、浜川医務課長より祝辞が述べられ、その後、入居者、特養スタッフ一緒にバースデイソングを歌いました。

記念撮影後は、三谷看護師が三線を演奏してくれ、入居者も一緒に歌を歌って大いに盛り上がりました。

また、おやつは職員の手作り和菓子が振る舞われ、入居者到大変好評でした。

高校生ボランティア

六月十日（水）午後一時三十分から三時まで高校生によるボランティアが行われました。毎年高校三年生が奉仕の授業として、やすらぎの里へボランティアに来ます。今回は十名の生徒と引率の先生四名が来てくれました。



（ウエス切りの様子）



（七夕飾り作りの様子）

生徒さんたちは三班に分かれ、特養に四名、デイサービスに三名、地域活動支援センターに三名が来てくれました。

特養では「ウエス切り」やホールの掃除などを行い、ウエス切りは入居者と一緒に行いました。

デイサービスでは男子二名は利用者と一緒に、折り紙で七夕飾りを作り、女子は職員と一緒に、利用者の方にマニキュアを塗ったりしました。

地域活動支援センターでは、男子二名は車両清掃の手伝い、女子は洗濯物を畳んだり、特養への洗濯物の配達を行っていました。



（特養へ洗濯物配達の様子）



編集後記



やすらぎの里の二大イベントである「やすらぎの里まつり」も無事開催する事が出来ました。入居者の方々も多くの方々が訪れ、大変喜んでいました。また、今月号では職員の研修会や高校生のボランティアのニュースなど、あまり職場以外では知らない行事なども掲載いたしました。

今後もやすらぎの里のトップickを村民の皆さんにもっと発信していきたいと思います。

広報委員長 福地恵一
 広報委員 鈴木ひろ子
 広報委員 桜井延一
 広報委員 藤井智久

地活だより

<http://blog.goo.ne.jp/tikatukozu>

平成27年度の地活の特徴は??

今年度の地活は昨年度の「攻めの地活！」を継続しながら新たな事業にもチャレンジしていきます！！

1. 施設管理業務の受託

今までは施設職員が行っていた施設管理業務(主に設備・備品類の修理)を地活で行なう事になりました。職員1名と利用者1名の2名で施設内を巡回し依頼のあった件に対応しています。

2. 施設内清掃業務の受託

昨年度から始めたやすらぎの里施設内の清掃業務の範囲を拡大し週3日、一日3時間ご利用者だけで行なっています。

簡単に言うと、今年からやすらぎの里から地活で受ける仕事が増える、と言う事です！これらの業務を増やすことでご利用者の就労の機会・収入を増やし、自立支援に向けて取り組んでいきます。また、昨年同様販売活動にも力をいれていきますので、村民の皆様も温かい目で見守って頂ければと思います。



4月からつなぎの作業服を購入しました！皆で洗車作業をしています！



異動により4月から新しい職員が3名加わりました！中村直清、土谷さえ子、土谷沙知子です。よろしくお願いします m(_ _)m
長浜祭りの日、どんたくの後赤崎で撮影です！